

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Basicあいおん				公表日	令和 7年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・こどもの特性に合わせて人員配置の工夫をしており対応できている。	・必要な人員（最低限）で対応していますが、よりよい支援の充実を図るため、新しい職員の確保にも努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・トイレ、手洗い場はこどもが一人でも使用できるようにわかりやすい。天井、壁（パーティション）に空間があり声が届くように工夫されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動後の清掃、運動前の床の清掃など徹底して行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・具合が悪くなった時、扉を開けてすぐ隣に休むことができる部屋を確保している。	・状況に応じた対応をしておりますが、支援方針により個別対応をしない場合があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・都度話し合う時間を設け、職員が可能な限り参加するように心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・振り返りを行い、その内容を伝達している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		費用が高額なため、現時点では行なっておりませんが、保護者による評価、従業員の評価を行い改善に務めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月に1度全体研修を行い、支援会議も随時行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・週1, 月1とテーマを決めて支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・こどもと関わる職員に聞きとりを行い、常に情報を把握している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・支援後、問題と思われる行動党について職員間で情報共有が出来ている。 ・普段の会話の中でも情報共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・わからない回答あり	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・必ず話し合いの場を設けて行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・同じことの繰り返しにならないように新しいことを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・通所時間が早いグループ数ずつで少人数指導できるよう工夫されている。 ・集団行動（運動・リトミック）個別活動（レベルに合わせて療育など）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・打ち合わせ時間が適切に設定されている。 ・メンバー（利用者）の確認、状態を共有し流れの確認を必ず行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・気になった事はすぐに共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日、支援後個々の記録を取り共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・わからない回答あり ・行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		・利用者の状況にもよりますが、自己決定が課題となっている方には必要な対応をしています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	・児発管が参加している。	・会議等に参加していることを周知徹底していないことにより情報の共有不足があったかもしれませんが、必要な会議には出来るだけ参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・わからない回答あり ・近隣の保育園と連携し、お互いに訪問できるよう現在取り組み中である。	・必要に応じてかかりつけ医に相談をする体制を作っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・わからない回答あり ・常に学校と情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・わからない回答あり ・小学生は出来ているが、中学、高校生になると困難である。	・保護者と情報を共有した後必要に応じて各機関と共有する機会は設けられるようにしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・わからない回答あり ・支援内容を含め、求められる情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・わからない回答あり	・気になる点があった場合には相談をするようにしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・わからない回答あり	・近隣に学童クラブなどがいないため現時点では機会がないが、今後何らかの形で交流が出来る機会があれば対応していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・わからない回答あり ・積極的とは言えない。	・法人代表が参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳で情報共有が出来ている。 ・通所する度に少しでも気になったことがあれば、その日のうちに伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・その都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・必ず定期的に面談を行い意思を尊重している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談時に確認している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・早い段階で（変化が生じた場合）電話・メール等対応し、面談が必要な場合は行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4		・様々な機会を設けていきたいと思っています。企画を実行できるようにします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・早めの対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・こまめに発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個。ファイル等は、鍵付きロッカーに保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・常に配慮しながら伝達している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		・個人情報のことなどもあり、開かれた運営という点では難しさを感じているが、保護者の理解をいただきながら検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・特に緊急時対応マニュアルは、伝言ダイヤル等をお互いに周知徹底している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・確認し個人ファイル等で職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・おやつを提供しているので対応できている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・高いところに物を置かない。 ・けがのないよう十分に気を配っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・些細な事であっても共有するようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修に参加できなかった職員にも資料閲覧が義務付けられている。 ・定期的に研修を行いグループディスカッション行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・必ず共有し、承諾を得ている。		